

市民一人ひとりが伝統文化を伝承 そして新たな創造を



▲大社高校佐田分校須佐太鼓部による勇壮な和太鼓演奏。11月18日から6日間ポルトガルで行われたジャパンウィークにも出演しました。



▲揚げたてイノシシコロケには行列ができました。

11月3日の文化の日に、佐田町のスサノオホールで、「第3回出雲神在月市民芸術文化の祭典〜スサノオの里芸能まつり〜」が開催され、神楽や太鼓、民謡や創作踊りなどが、各地域13団体の皆さんによって繰り広げられました。

この市民芸術文化の祭典は、市民のさまざまな芸術文化活動を紹介するとともに、各団体が交流することにより、伝統文化を引き継ぎ、そして新たな創造につなげようというもので、今後も各地域を会場に開催される予定です。

また、スサノオホール周辺では、「第14回スサノオごっこといまつり」も開催され、多くの人で賑わいました。訪れた人は、「スサノオの里芸能まつり」を楽しむとともに、出雲農林高校によるふれあいミニ動物園などの屋外イベントに参加したり、原田の手打ちそば、イノシシラーメンなど佐田の味覚に舌鼓を打ちました。